

1 地区区分（地域別構想）について

都市計画運用指針（抜粋）

- 地域別構想の地域の設定は、地形等の自然的条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲、区域区分等を考慮し、各地域像を描き施策を位置づける上で適切なまとまりのある空間の範囲とすることが望ましい。
- 地域別構想においては、全体構想に示された整備の方針等を受け、地域の特性に応じ誘導すべき建築物の用途・形態、地域の課題に応じ地域内に整備すべき諸施設、円滑な都市交通の確保、緑地空間の保全・創出、空地の確保、景観形成のため配慮すべき事項等の方針を明らかにすることが望ましい。

現行の都市計画マスタープランでは、都市計画運用指針を踏まえつつ、

- ① 区全域を町名町界等の歴史的に形成された区分をもとに
- ② 市街地の特性や都市計画道路などまちづくりの進展
- ③ 鉄道・幹線道路や駅利用など日常の生活行動の圏域

を考慮して地区区分を設定している。

今回の改定では、

- 少子・超高齢社会に対応した拠点の育成、地域資源を生かした魅力ある都市空間づくりの推進
  - 区民がまちの将来像や課題をイメージしやすい地区区分による協働のまちづくりの推進
- ⇒ 従来からのきめ細かな地域に密着したまちづくりを総合的に進めていくため、引き続き、現行の12地区を継承し地域別構想を検討



地区区分の設定

| 地区区分       | 対象町丁目                                    |
|------------|--|
| 駒込地区       | 駒込1～7丁目                                  |
| 巢鴨・西巢鴨地区   | 巢鴨1～5丁目<br>西巢鴨2～4丁目                      |
| 大塚地区       | 北大塚1～3丁目<br>南大塚1～3丁目<br>西巢鴨1丁目<br>上池袋1丁目 |
| 池袋北地区      | 池袋本町1～4丁目<br>上池袋2～4丁目                    |
| 池袋東地区      | 東池袋1～5丁目<br>南池袋1・2丁目<br>上池袋2丁目（一部）       |
| 池袋西地区      | 池袋1～4丁目<br>西池袋1・3～5丁目                    |
| 雑司が谷地区     | 雑司が谷1～3丁目<br>南池袋3～4丁目                    |
| 高田地区       | 高田1～3丁目                                  |
| 目白地区       | 目白1～5丁目<br>西池袋2丁目                        |
| 高松・要町・千川地区 | 高松1～3丁目<br>要町1～3丁目の一部<br>千川1・2丁目         |
| 長崎・千早地区    | 長崎1～6丁目<br>千早1～4丁目<br>要町1～3丁目の一部         |
| 南長崎地区      | 南長崎1～6丁目                                 |

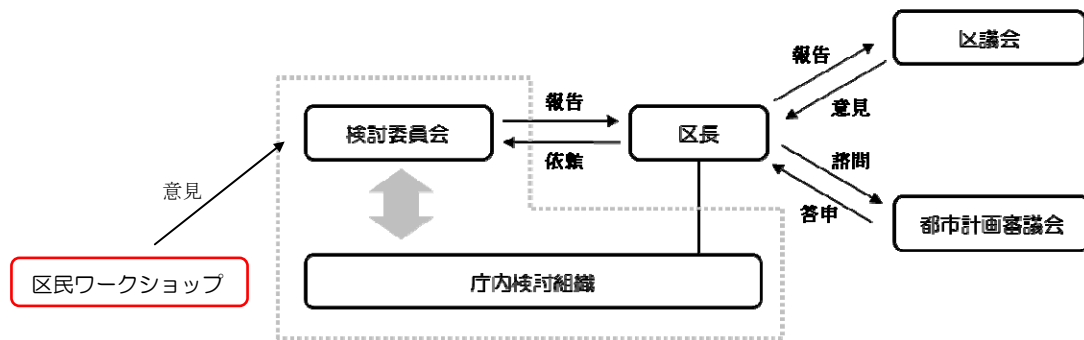
## 2 区民ワークショップについて

### ①区民ワークショップの目的

- ・ワークショップにより、地区の資源や課題、将来像等に関して検討を行い、その成果を都市計画マスタープランの地区別まちづくり方針の検討に反映させる。
- ・区民が地域の問題解決やまちづくりに関心を持つきっかけをつくり、協働のまちづくりを推進する。

### ②検討体制における位置づけ

- ・平成 25 年度以降、都市計画マスタープラン検討委員会において、将来都市像や土地利用現況、まちづくりの動き等を踏まえ、地区別まちづくり方針を検討する。
- ・各回のワークショップの成果は、検討委員会において報告する。その際、ワークショップから出された意見を地区別まちづくり方針に反映させた案を事務局より提示する。
- ・区民ワークショップの最終成果は、成果発表会を開始し、区民に広く公開する。



### ③ワークショップにおける検討対象

- ・全区を 12 に分けた地区区分を検討の単位とする。

### ④メンバー構成

- ・1 地区 4 名が、一つのグループとし机を囲んで議論を行う。
- ・ファシリテーターとして、事務局（コンサルタント）が進行役を務める。当日の記録は、参加メンバーによるポストイット等への記入によるものとする。
- ・検討委員会の学識委員には、必要に応じてアドバイザーとしての参加を要請する。

### ⑤各回の進め方（案）

- ・ワークショップでは、現行の都市マスタープランにおける地区の将来像を前提に、土地利用の変化や地域資源の分布などのデータを踏まえ、地区の目標や整備課題等について検討する。
- ・ワークショップでの意見については、検討委員会に報告し、地区別まちづくり方針の検討に活用していく。

|     | 内容         |  | 目的・到達点   |
|-----|------------|--|--|
| 第1回 | ○オリエンテーション | ・都市計画マスタープランとは<br>・ワークショップの進め方について<br>・中間のまとめの説明                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のまとめの報告</li> <li>・地区の資源の抽出 (12地区)<br/>⇒ 第6回検討委員会へ報告</li> </ul>       |
|     | ○自己紹介      | ・自己紹介<br>(ワークショップで議論したいテーマ 等)                                      |  |
|     | ○地区の資源     | ・地区の資源や魅力、その活用に関するアイデア出し   |  |
| 第2回 | ○第1回のおさらい  | ・地区の資源の整理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区のまちづくりのテーマの設定 (12地区)<br/>⇒ 第7回検討委員会へ報告</li> </ul>                    |
|     | ○まちづくりのテーマ | ・地区の資源を活用した、まちづくりのテーマの絞り込み<br>・政策目的別都市づくり方針の中から、重点的に検討すべきテーマを選定する。 |  |
| 第3回 | ○第2回のおさらい  | ・地区のまちづくりのテーマの整理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の将来像の設定 (12地区)</li> <li>・成果発表会に向けた準備の計画<br/>⇒ 第8回検討委員会へ報告</li> </ul> |
|     | ○発表準備      | ・まちづくりのテーマを踏まえた、地区の将来像や方向性について、即地的に検討<br>・発表者の選定                   |  |
| 第4回 | ○成果発表会     | ・地区の「将来像」について発表  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の立場からの発表について区や学識経験者も交えて意見交換</li> </ul>                               |

■最終成果物の構成イメージ (例)

①地区の資源と魅力

②地区のまちづくりのテーマ

1) テーマの設定理由 2) 地区の資源の活用アイデア 3) テーマ実現に向けた取組

③地区の将来像

1) 将来像を説明するキーワード 2) 将来像を説明する参考図、事例写真